

裏磐梯だより



磐梯朝日国立公園
裏磐梯ビジターセンター



No.75
2015年11月

小さな世界 ⑩

みなさんは、裏磐梯の紅葉が終わったこの時期、木にとまったりひらひらと飛んでいる昆虫を見たことはありますか？夏や秋にはトンボ、チョウ、バッタなど多くの昆虫を見かけますが、この時期はあまり見かけません。そんな天敵や他の昆虫も少ない時期にひらひらと飛んでいる昆虫の一種が「フユシャク」という蛾です。雄は翅がありますが、雌は翅が無いもしくは退化しているため、まるで別の生き物のようです。そのため飛ぶことはできませんが、フェロモンを放出することで雄に存在場所を知らせます。写真は、フユシャクの胸部でたくさんの毛があり、とても暖かそうです。人間で言うと首にファー（毛皮）のマフラーを巻いているようで、私も巻いてみたいと思いました。また、写真では分かりませんが、実際のこのフユシャクの毛は茶色で、それが一層暖かさを感じさせます。防寒対策をしっかりとした上で、晩秋の雰囲気を感じながらフユシャクを探してみてもはどうでしょうか？見つけたらフユシャクを驚かさないように観察してみてください。（「フユシャクの毛」2015年11月19日）

20 年 月 日
来館記念スタンプをどうぞ